

# 令和5年度 小淵沢中学校グランドデザイン

**生徒の実態**

- 物事に真面目に取り組む生徒が多い。
- 自分の思いや考えを伝えることが苦手な生徒と、自己顕示欲や承認欲求の強い生徒との差がある。
- 自己肯定感が低い生徒がいる。
- 学習への意欲や基礎基本の定着率に差がある。
- 保護者と離れて寮生活をjする生徒がたくさんいる。
- 県内県外比が2:1であり男女比も2:1となっている。

**地域の実態**

- 夏は比較的涼しいが冬の寒さは厳しく、自然豊かな地域
- 県外から移り住んでいる人々も多数混在する地域
- 地域の特色を生かした産業がある地域(観光客が多く交通量が多い)
- 伝統文化と新しい文化が息づく地域
- 多様な特技や能力を持った人材が豊富な地域
- 学校の教育活動に対して協力的な地域

**働き方改革の推進**

- ・長時間勤務の解消
- ・部活動の地域移行
- ・子どもと向き合う時間の確保

P(プラン)－D(ドゥ)－C(チェック)－A(アクション)

- 1 学年・学級経営や教科指導において、自己の目標や具体的な手だてを考え実践する。
- 2 「自己評価」、「年2回の学校評価(生徒評価・保護者評価・教職員の自己評価)」や「学校関係者評価」などを活用しながら振り返る。
- 3 各種アンケートや各行事の反省などを踏まえ、課題の把握と改善に努める。

学校教育目標  
**八ヶ岳高原のこの地を愛し、人間性豊かに生きぬく生徒**

目指す生徒像  
 課題を探り、その解決に努める (かしこさ) 「知」  
 自分を敬愛し、助け合って学ぶ (しなやかさ) 「徳」  
 心身を鍛え、最後まで諦めない (たくましさ) 「体」

- ・学習指導要領→令和3年度より全面实施
- ・山梨県教育大綱(山梨県教育振興基本計画)
- ・山梨県学校教育指導重点
- ・北杜市の学校教育(原っぱ教育)「不屈の精神と大志を持った人材の育成」

## 学校経営の柱

**魅力ある授業づくり**  
**信頼関係に基づいた生徒指導の充実**  
**家庭や地域と連携した指導体制づくり**

指導上の努力点  
 『共通理解による指導体制を推進する』

- 生徒の成長や発達のためには、多くの関係者の力が必要であることを再確認し、指導の方針や指導内容を共通理解した上で指導にあたる。
- 生徒自身の力で改善し、向上できるように継続した指導に努める。
- 学校や学級内の人間関係や環境を整え、受容的・共感的に理解した上で生徒指導にあたる。
- 生徒や教職員の個人情報の適切な取り扱いに努める。
- GIGAスクール事業に基づく1人1台PCの積極的な活用、及び緊急事態に備えリモート指導体制を構築する。

## 経営の方針

“お互いの良さを認め合い、共に学び合う学校の実現に努力する”

- (1) 知・徳・体の調和を重視し、適切な教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。
- (2) 授業の工夫や個に応じた教育活動を進める中で「確かな学力」の定着に努める。
- (3) 仲間を思いやる心を育成しながら、心の居場所となる学級づくりに努める。
- (4) 学校体育や学校保健を積極的に推進し、健康安全教育の充実を努める。
- (5) 社会的自立を促し、保護者や地域との連携を深め、信頼される学校づくりに努める。



## 指導の重点

1 確かな学力の育成	2 豊かな心の育成	3 健やかな体の育成	4 信頼される学校づくりの推進
<p>『生徒一人一人の願いや課題を把握し、きめ細かな学習指導に努める』</p> <p>◎個別最適な学びと協働的な学びを組み合わせ、全ての生徒の可能性を引き出す。</p> <p>○ICTの活用や体験的の活動など学ぶ楽しさや成就感が実感できるような指導を工夫し、主体的に学習に取り組む意欲や態度を養う。→「個別最適な学びと協働的な学び」</p> <p>○学習課題を理解し、「見通す・振り返る」学び合う活動を工夫することで、授業の質的向上と「確かな学力」の育成に努める。→主体的・対話的で深い学びの実践</p> <p>○家庭学習ノートや放課後学習会の取組を通して、家庭学習の習慣化を図る。</p> <p>○キャリア教育の視点に立って教育活動全般を見直し、体系的な教育活動を推進する。→「やまなしキャリアパスポート」の活用</p> <p>○特別支援教育に関する理解と専門性を高め、特性に応じた指導を心がける。</p>	<p>『望ましい人間関係の育成と心の教育を推進する』</p> <p>◎生徒理解を基に心の居場所づくりに努め、いじめや不登校のない楽しい学校生活の実現に努める。必要に応じて、SCやSSWなどの専門家や、北杜市教育支援センターなどの専門機関と連携して支援体制を充実させる。→コロナ禍の子どもの変化に対応する→SOSが出せる環境作り</p> <p>○話し合い活動を充実させ、認め合い、支え合い、学び合い、学校生活の土台である居心地の良い学級づくりに努める。→自己肯定感を高める</p> <p>○道徳の授業の充実を中心とした道徳教育の推進により、道徳性を養う。→SDGsも視野に</p> <p>○教科の学習や諸行事などの中に、助け合い、協力し合う実践を取り入れ、思いやりの心を育てる。</p> <p>○読書活動を充実させ、豊かな心を育む。</p> <p>○社会生活の基礎である「あいさつ」「清掃」「時間を守る」がしっかりとできるようにする。</p>	<p>『体育・スポーツ、文化活動などの体験的活動を積極的に推進し、健康で安全な生活習慣の確立に努める』</p> <p>◎「新しい生活様式」に則り、コロナ禍の様々な困難を克服する生活習慣を確立させる。</p> <p>○体育・スポーツ活動及び文化活動へ積極的にチャレンジし、体力の向上や心身の健康保持増進に努める。</p> <p>→朝食摂食や口腔衛生への意識改善</p> <p>○基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはんなど)の定着が図れるような指導に努める。</p> <p>○登下校時の安全確保と交通事故防止に向け、安全教育の充実を図る。</p> <p>○自然災害や火災などに対する避難訓練や、不審者対応など、危機管理体制の見直しと強化を図る。</p>	<p>『保護者・地域との連携を密にし、特色ある教育活動を推進し、信頼される学校づくりに努める』</p> <p>○授業参観、学年・学級懇談会、三者懇談などの機会を充実させる。</p> <p>○集団へのガイダンス、個々の生徒へのカウンセリングを効果的に行う。</p> <p>○朝読書や合唱発表会、強歩大会、スケート教室など、地域の「ひと・もの・こと」を生かした活動を推進する。</p> <p>○保護者や地域との信頼関係が深められるよう誠実に対応するとともに、積極的な交流や各種たより・HP・配信・連絡メールなどで情報の発信に努める</p> <p>○小学校との合同研修や交流を図ることにより、小中の効果的な接続(連携)を推進する。</p> <p>○地域に開かれたコミュニティースクールを推進する。</p> <p>○保護者や地域に支えられ、地域に貢献する学校づくりを推進する。</p>